

# 「愛媛・しまなみ海道地域振興ビジョン」の概要

～サイクルツーリズムを世界ブランドへ～

## 10年後のしまなみエリアの目指すべき姿

サイクルツーリズムを深化させ、しまなみ海道を世界ブランドに発展させることによって  
持続的な地域振興を実現！

### [3つの方針]

#### 誘客拡大・高付加価値化

##### 1.世界的なサイクルツーリズムブランドへ

- <目標>
- 世界のサイクリストが「しまなみ海道」を認知
  - 特別なサイクルツーリズム訪問地として認識
  - 年間を通じ、多くのインバウンド観光客を受け入れ

#### 誘客効果の波及・経済活性化

##### 2.観光産業を地域経済活性化のリーディング産業へ

- <目標>
- しまなみエリアの観光産業の経済効果が県内経済全体へ波及
  - 域内外からの積極的な投資
  - 地域の事業者・住民が観光振興による経済活性化を体感

#### 継続的な地域振興

##### 3.地域共生型／環境配慮型開発の先進地へ

- <目標>
- 域外交流による住民のシビックプライドの醸成
  - 交流から関係・定住人口拡大につなげる仕組みの確立・運用
  - 地域社会・自然環境維持に貢献する仕組みの確立・運用

### [4つの政策]

#### 1.戦略的・政策横断的な振興政策

- <短期施策>
- ①来島海峡大橋(クラウン・ブリッジ)を核としたサイクルツーリズムブランドの形成
  - ②世界レベルのサイクルツーリズム先進地の形成に向けた観光インフラの整備
  - ③地域が主体となって取り組むサイクルツーリズムを核とした着地型観光商品の造成促進・体制構築の支援
  - ④サイクルツーリズムに関するシンクタンク機能の強化

#### 2.観光産業集積・地域経済活性化に向けた政策

- <短期施策>
- ①しまなみエリアの特性を活かした投資誘致策、健全な競争環境整備に向けた政策の立案・展開
  - ②県全体への高い経済波及効果の実現に向けた域内循環の仕組みづくり
  - ③しまなみエリアを起点とした県内への送客の仕組みづくり

#### 3.持続可能なエリア振興と環境保全の両立

- <短期施策>
- ①観光振興と環境・文化保全の共存
  - ②観光振興を起点とした地域への還元

#### 4. エリアマネジメント組織の形成

① 行政間での連携体制構築

②民間プレイヤーのネットワーク化  
官民連携プラットフォームの構築

③民間主導の組織づくり

#### 現状の課題

- 宿泊施設やアクティビティが少ない(通過型観光地)
- 自転車・手荷物の搬送や公共交通
- 情報の乱立、意識共有・ネットワーク不足
- インバウンド対応の遅れ
- マンパワーの不足、現状維持での取り組み